

# ふれあい

さらべつ  
社協だより  
No.93



## 世代を問わず村の暮らしを楽しむ活動づくりワークショップ「村のおとの描き方」[R2/8/18]

- 「ふれあい広場2020さらべつ」の中止と協力団体からのメッセージ・・・P2-6
- 更別社協の社窓から「冊子・村のおとが完成」「今年度のワークショップ」・・・P7
- 劇場版「鬼滅の刃」無限列車編×赤い羽根共同募金コラボレーション・・・P8
- 更別村社会福祉協議会 奨学金貸付事業について・・・P9
- 寄付者・リサイクル協力者のご紹介、高齢者等生活支援事業ほか・・・P10-11
- 連続映画上映会・講演会のお知らせ、編集後記ほか・・・P12



“ふれあい”は、赤い羽根共同募金助成金を受けて発行しています。

## 「ふれあい広場2020さらべつ」の中止について

全国的な問題となっている新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、来場者の健康と安全を考慮した結果、例年11月下旬に開催してきた「ふれあい広場」は今年度中止とすることを決定いたしました。

ふれあい広場は、様々な団体やボランティアグループとともに開催してきた福祉のお祭りであり、今年で21回目を迎えるところでした。

“地域のつながり”を進める社会福祉協議会にとって大切なイベントであり、大変残念に思っています。

そこで今回、ただ「中止」で終わるのではなく、これまでのつながりがこれからも続くよう、例年ふれあい広場に参加・協力いただいている団体等のお話を伺ってきました。

コロナ禍のもと、地域において考えながら行われている活動や、皆さんへのメッセージをご紹介します。



### 特集

## ふれあい広場協力団体からのメッセージ

[ ] 内は昨年のふれあい広場における協力内容

新型コロナウイルス感染症の影響で各種イベントが中止となったことに関連し、本会がイベントに参加し行う興行募金活動も実施できずにいます。

興行募金は、地域において共同募金の姿と意義を広くお伝えする機会でもあり、今後の運動への影響が心配されるところです。

今年も10月から赤い羽根共同募金、12月からは歳末たすけあい運動が始まりますが、コロナ禍における共同募金運動についてはその時々々の状況をふまえ、丁寧に進めていきたく考えております。

募金～助成～事業実施と地域を循環する共同募金は、つながりの遮断が続くこの事態の希望といえるものです。皆様にはかつてない難局をともに乗り切るべく、何よりお体ご自愛ください。



更別村共同募金委員会（会長 請川 芳克）[共催団体・実行委員・募金ブースの運営]

この度、更別村老人クラブ連合会の役員改選により、会長という重責を担うことになりました。何分にも経験不足で会員の皆様には何かとご迷惑をお掛けすることと思いますが、副会長をはじめ他の役員さん、事務局と相談しながら会の運営に携わって行きたいと思っております。

過去経験したことのない新型コロナウイルス感染症の拡大により、今年度の老人クラブ連合会の「パークゴルフ大会」、「秋の研修会」等ほとんどの主催事業が中止となり、会員同士顔を合わせる機会がほとんどなくなりました。

早く感染が収まりレクリエーション、研修会等に楽しく参加できる日が来ることを願っています。そして皆様の健康とご活躍を祈念いたしまして、会長就任の挨拶いたします。



更別村老人クラブ連合会 (会長 岡出 信一郎) [協賛団体・実行委員]



新型コロナウイルス感染症は、分会に大きな影響を残しています。4月の役員会・総会が書面会議となり、事業が相次いで中止となりました。会員の拠り所として事業を行ってきたので、大変残念に思っております。

新型コロナウイルス感染症が終息し、また皆さんと元気に会えることを願っています。

十勝地区身体障害者福祉協会更別村分会 (分会長 日崎 正則)

[協賛団体・実行委員]

昨年、初めての試みとしてJAさらべつ様のご協力により、更別神社秋季祭典の縁日の一角で会員有志によるゲームコーナーを企画・運営しました。本人たちにとっては貴重な体験となりとても喜んでおりました。

今年度は楽しみにしていた催しがことごとく中止となり、とても残念です。

ふれあい広場で毎回担当している縁日コーナーは、子どもも大人もたくさん来てくれるようにとの思いから始まったものですが、今後の内容・会場等再考すべき時期に来ているのでと感じているところです。



更別村手をつなぐ親と子の会 (会長 梶 幸子) [協賛団体・実行委員・縁日コーナー]



休止していた「ふれあいサロン」を8月から再開。麻雀などのゲームは行わず、久しぶりの会話を楽しみました。一方で「一人暮らし高齢者ふれあい昼食会」の実施については悩ましく、役員で検討を重ねています。

これまで当たり前だった人と人との関りが一変し、村内外のボランティアとの交流・研修の機会もなくなりました。

しかしコロナ禍は、私たちに「本当に必要なこと」を考える時間をくれました。皆さん一緒に、地域に必要なことを少しずつ再開していきましょう。

更別村ボランティアすずらん会 (会長 剣持 えり子)

[協賛団体・実行委員・リサイクルバザー・昼食コーナー]



コロナ禍の中で保育園、学童保育所、子育て支援センター共に行事を見直し、地域の方々との交流も控えめにした、ちょっと寂しい2020年度が始まりました。

そんな中で学童舎が増築され、支援センターが整備されました。

8月からは、地域食堂『みんなの森』がスタートしました。

「ふれあい広場」中止は大変残念ですが、次回の「おやき」を楽しみにしているという嬉しい声も届いています。

どうぞみなさんご自愛ください。また、笑顔でお会いしましょう。

更別どんぐり福祉会（理事長 高畑 昭子）[協賛団体・実行委員・おやきとジュースの販売]

2020年度も後半に入りましたが、シルバーハウジング入居者の会「シルバーサークルどんぐり」もどのように事業を進めていくべきか模索しています。

多くの入居者が楽しみにしている気軽な「食事づくり」、そして地域の方に来てもらい、手作りの豚丼とカレーライスを振舞ってきた「地域食堂」もできず残念なことです。

それでも10名程が自然と団らん室に集まり、消毒・マスク着用・換気、間隔も開けながらUNOなどのカードゲームをしています。日々の暮らしや人生について他愛ない話を重ねながらも、これも一つの転機と理解し、前に進んで行きたいものです。



シルバーサークルどんぐり（会長 山崎 昇）[協賛団体・手作り品の販売]



「新型コロナウイルス」のニュースをテレビで毎日見るようになった2月末、感染の拡大を防止するため活動の休止が決まり、5月まで長いお休みが続きました。（4月に2週間ほど再開できましたが…）

6月からは週2回（火曜・金曜）、いつも通りの活動が戻ってきました。マスクを着用し、手洗い、うがいも忘れずに、手の触れる場所は消毒…と、感染予防を行いながら過ごしています。

今は、使用済み折り紙による「のび太君」と「しずかちゃん」の貼り絵を作成中です。完成後は、昨年作成した「ドラえもん」

「ドラミちゃん」と一緒に温泉ロビーに展示しますので、見ていただくと嬉しいです。

ふれあい広場が中止となり、今年は販売体験は出来ませんが、布巾は作る予定です。

サッチャル館 [手作り品の販売]



私達クローバーモアは新型コロナウイルス感染症対策の上、障害を抱えた利用者様と職員で協力しながら9月より第2・第4木曜日に老人保健福祉センターのロビー内でドーナツ販売を行っております。

また、私達の日々の活動も含め、以前のような催しが再開できるように、皆様と一緒にできるところから行っていき、前に進んで行きましょう。



クローバーモア [協賛団体・ドーナツ販売]



学校の休校とともに、更別かしわ太鼓保存会少年部の活動も休止していましたが、7月から部員17名で火曜・木曜の週二回の活動を再開することができました。

一方でお祭りなどのイベントが中止となり、皆さんの前で発表する機会がなく、とても残念です。

いつか元気いっぱい力強い演奏を披露するため、日々の練習を続けていきたいと思えます。

このような芸能発表を小・中学生の皆さん、ぜひ体験してみませんか？一緒に太鼓を叩いてみましょう。

更別かしわ太鼓保存会少年部 [協賛団体・オープニング公演]

新型コロナウイルスの感染拡大につきクラブ活動が中止になり、楽しみが遠のいて危機感を強く受け悩ませていたこともありました。

9月に入りして、活動が出来ることに心より感謝しております。

会員皆様方には三密を防ぐため、近距離・対面の会話など控えめにして、健康管理と生きがいと希望が見える人生に進んでください。

会場である老人保健福祉センターの使用の際には、クラブで消毒液を用意し、換気を行い感染予防に注意。徹底的な対策と個々の理解・協力をいただきまして安全安心な実施に努めています。

仲間の笑顔ときずなを大切に、明るい人生となるよう頑張っていきたいと思えます。

村民の皆様と共に楽しみましょう。～笑顔でカラオケを愛して歌う～



更別村末広学級カラオケクラブ (部長 樋口 博英) [協賛団体・芸能発表出演]



6月から活動を再開し、週1回、10名程で踊りの練習をしています。今年はずっとのイベントが中止となり、舞台に向けて身を入れることがなくなってしまうました。

しかし自宅に閉じこもっていても寂しいものです。皆、運動の機会として、そして認知症の予防にと思い、集まって踊っています。家のテレビと話しても返事がなく、つまらないものですが、仲間とのおしゃべりは楽しい時間です。

皆さん、コロナに負けず、自分自身のために身体を動かして過ごしましょう。

もし良かったら、健やかクラブと一緒に踊りましょう！

健やかクラブ (代表 竹内 マサ子) [協賛団体・芸能発表出演]

何度も講習させていただいて感じた事は、皆さん年齢に関係なくとても一生懸命作業されるなぁという事です。

毎年新しい講習をとなりますと、私も不慣れなこと、思いもしなかった事など起きますが、皆さんは「待つ事も楽しみの一つだよ。」とおっしゃって下さいます。

とてもありがたく、また申し訳なく思います。

イベントが再開された際は、ゆったりとした更別時間を皆さんと一緒に過ごせたらと思います。それまでお体ご自愛専一になさってください。



IGELKOTT (代表 氏家 路子) [協賛店・アクセサリ作りコーナー]



今回「ふれあい広場」のイベントが中止となりお客様にお会いする事が出来ず、残念な思いです。短い時間での施術ですが お話を聞かせていただくのがとても楽しみでした。

次回また、笑顔にお目にかかれる日を心待ちにしております。

当サロンでは、「色、香、音」を通して自分らしさを発見し、人生を楽しく豊かに生きていくためのお手伝いをさせていただいております。

新型コロナウイルス感染の影響から、活動も制限されておりましたが、周りの方々のご協力により少しずつ新しい取り組みを広げていく事が出来ました。

コロナ禍の経験の中で「自分の内側を見つめる事」に重点を置きながらも、周りの方々との繋がりから感じる優しさや温かさに改めて気づき、人と人との出逢いの大切さを実感いたしました。

感謝の気持ちと共に少しでも皆様のお役に立つ事が出来たら幸いです。

カラーリング&アロマサロン彩音(サイン)カラー (代表 平野 久美子) [協賛店・ハンドマッサージ]

今年度は新型コロナウイルスの影響で様々なイベントが中止となり、自宅で過ごす時間が多くなりました。

そのような渦中、介護ロボットが注目され、多くの場面で紹介されています。

なかなか外出できずにこもりがちになっても癒してくれる最新ロボットや、新型コロナウイルス対策として密を避けて、利用者さんが安心して生活できる見守りロボット。職員さんの腰を楽にしてくれるロボットなどたくさん増えています。

今後福祉用具は時代のニーズに合った用具にどんどん進化していきます。少しずつでも皆さんに紹介できるような環境になればと思います。



マルベリーさわやかセンター帯広 (センター長 櫻井 資久) [協賛店・福祉機器展示]



次回のふれあい広場で  
皆さんの笑顔にあえる  
ことを楽しみに・・・  
ありがとうございました



## しゃそ ～更別社協の社窓から～



大岡コーディネーター

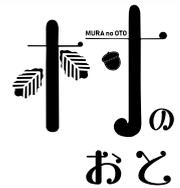
### 【ご報告】 ～ 冊子「村のおと」が完成しました ～

「村のおと」は、2019年度生活支援体制整備事業「これからの大人の暮らし方を考える冊子づくりワークショップ」によってつくられました。この村で「将来をどう暮らしたいか」を描き、今からできる暮らし方を考えるプロジェクトです。

参加者と、更別農業高等学校の生徒がチームを組み、暮らしの中で大事にしたい要素から、それを実践している村の大人（50代～）に会って、今の暮らしに至るまでのストーリーや大事にしていることを取材しました。その活動を通して「更別らしい幸せな暮らし」としての5つの要素を見つけ出し、カテゴリーに分けて掲載しています。

「村のおと」は今年7月に実施したお披露目イベントで正式に披露され、参加者が考えた設置したい場所、お渡ししたい人に配布しています。

8月には「村のおと」を制作した更別農業高等学校の生徒と一緒に商店街の店舗に設置依頼にいき、高齢者の生活支援に関わる部分のニーズ調査もさせていただきました。「村のおと」を使いながら活動を展開しているところです。この取り組みは、年代や所属を問わず、地域の人がつながることで「個人の幸せから地域の幸せ」へと循環していくきっかけとなるものです。



### 【今年度の展開】 ～ 2本のワークショップを開催 ～

2020年度は「村のおとの描き方」「ささえあい研究室」2本のワークショップを並行して実施しています。

「村のおとの描き方」は、冊子「村のおと」から描かれた「今からできること」を実現していくワークショップです。

一方、「ささえあい研究室」では村民が高校生を支える体験を通して、「支え合い」を双方向で行うにはどのような場が良いのかを考えていきます。

どちらもコンセプトは「支え合い」です。それぞれが年齢を問わず、関わる方法を考えていきます。「村のおとの描き方」は村民の「得意」や「やりたいこと」を活用する場として、「支え合い研究室」は村民の「得意」や「できること」を知る場として組み立てていきます。

幅広い世代が楽しく関わることから、「支え合い」を目指していきます。



## 劇場版「鬼滅の刃」無限列車編 × 赤い羽根共同募金 コラボレーション

令和2年度、赤い羽根の北海道共同募金会が主体となって実施する新しい取り組みとして、10月16日(金)より公開となる“劇場版「鬼滅の刃」無限列車編”と赤い羽根共同募金のコラボレーション企画が実施されます！



『鬼滅の刃』は赤い羽根共同募金を応援しています



### 《企画概要》

各地域における福祉に関わる様々な課題が顕在化していますが、こうした課題を解決するため、地域住民によるボランティア活動が盛んに行われています。

また、自然災害の発生時などにおいてもボランティアは大きな力を発揮し、住民同士の支えあいの活動は、私たちの生活にかけがえのないものとなっています。

「赤い羽根共同募金」はこうした地域での民間福祉活動を行う住民ボランティアを応援する募金です。

本コラボレーションをきっかけとして、これからの未来を支える若い世代の方々をはじめとする多くの方々に「赤い羽根共同募金」に関心を持っていただくこと、また住民同士の支えあい活動を若い世代からも盛り上げ、安心して暮らすことのできる地域を目指すことを目的として実施するものです。

©吾峠呼世晴／集英社・アニプレックス・ufotable

北海道内各地にコラボレーションポスターが掲出されるほか、道内市町村共同募金委員会では 300円以上の募金協力のお礼として、コラボクリアファイルを進呈します。→→→福祉の里温泉の窓口にて取扱中！

### ～未来の福祉につながる「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金」へのご協力をお願いします～

10月1日より、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まりました。

今年は何と言いましても新型コロナウイルス感染症の流行を受け、皆様日々大変ご苦労されていることと思います。

そのような中で、当然ながら今年の募金運動については感染拡大に配慮しながら進めてまいります。

地域で集まった募金の約10%は北海道の福祉のため、約90%は更別村の福祉のため使われます。また、一部は国内の大災害時のために積み立てられます。

また、12月からは「歳末たすけあい」が始まります。これは障がい世帯や母子父子家庭等、生活環境に恵まれない家庭に明るい年越しを迎えていただけるよう、年末に義援金をお届けする運動です。

あまり知らせていませんが、更別村は世帯当たりの募金額が毎年全道一の「募金のまち」です。

「募金」～「助成」～「福祉事業の実施」と地域を循環する共同募金へのご理解・ご協力を心よりお願いを申し上げます。



令和2年10月 更別村共同募金委員会 会長 請川芳克



# 更別村社会福祉協議会 奨学金貸付事業のお知らせ



均等な教育機会の保障のため、環境に恵まれない生徒に対し、更別村社会福祉協議会独自の奨学金をお貸しします。条件を満たした場合の返済免除規程もございます。

[対象者] ① 更別村に住む高校生

② 更別農業高等学校に在学する高校生

(上記①②のいずれかで、次年度に大学・短期大学・専修学校の、教育・医療・福祉の  
関係学科に進学する方)

[貸付限度額] 一年度につき10万円とし、40万円を限度

(ただし、医学・薬学・歯学の六年制学部に関り、60万円を限度)

[提出書類] ① 奨学金借入申込書(様式第1号)

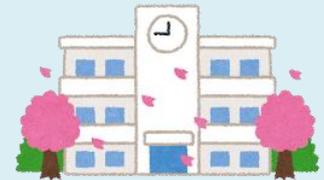
② 奨学金希望・意見書(別紙1)

③ 在学校の調査書または成績証明書

④ 進学先の学費等を証明する書類(※写し可)

⑤ 合格通知書(※決定後直ちに)

※ その他、公的扶助制度等の該当を証明するものの提出を求める場合があります。



[返済] 卒業後、毎月均等に返済する

※ 返済開始について卒業後一年間の据置可、貸付利率は無利子

※ 毎月1万円の口座振替を基本とする(要相談)

※ 下記の条件を満たした場合、**返済免除あり**

(1) 全額免除	更別村内で、一年以上関係学科の職についた場合
(2) 半額免除	更別村内で、一年以上関係学科外の職についた場合

[申請締切] 卒業年の3月末日まで(2月末日までに要事前相談)

[その他] ・ 決定(1名/年)の可否については、本会の選考委員会により行います。

・ 申請書等の様式については、本会ホームページをご活用ください。

(下記事務局にも様式がございます)

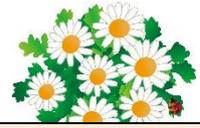
・ その他ご不明な点等、下記事務局にお問合せください。

・ この事業の原資は、地域からの寄付金です。



TEL 0155-53-3500 (担当 野々村) メール sara-shakyo227@abelia.ocn.ne.jp

## ご寄付ありがとうございます (R2.5.27~)



### 金 銭 預 託

行政区	お名前・団体名	金 額	内 容
香川区	内 海 健 治 様	50,000円	福祉のために(香典返し)
更南区	佐 藤 正 範 様	100,000円	福祉のために(香典返し)
—	更別ライオンズクラブ 様	300,000円	福祉のために(会の解散に際して)



更別ライオンズクラブ 神成会長より (令和2年6月17日)

更別村社会福祉協議会への  
「寄付リーフレット」を作成しました。

寄付者の気持ちを大切に、できれば  
使いみちをお選びいただくことで、  
その思いを確かに福祉へつなげて  
いきます。



### 物 品 預 託

行政区	お名前・団体名	物 品	払い出し先
北更別区	北更別区女性部 様	タオル類	社会福祉協議会へ(災害時等に活用)
平和区	平和区一同 様	タオル	〃
花園町	山 森 智 恵 様	碁盤・碁石	～今後希望するところへ払い出し～
曙 町	牧 野 きみ子 様	タオル、折り紙	タオル…社会福祉協議会へ 折り紙…コムニの里さらべつへ
香川区	内 海 健 治 様	ポータブルトイレ	～今後希望するところへ払い出し～
花園町	どんぐりむらとくる味の木 堀 口 健 次 様	マスク 95 枚	コムニの里さらべつ、 グループホーム元気の里さらべつへ
—	匿 名 様	文庫本	社会福祉協議会へ
—	匿 名 様	切 手	社会福祉協議会へ(通信用に活用)

### 更 高 生 が 活 躍 ! マ ス ク 回 収 ~ 寄 付 活 動



令和2年7月15日…コムニの里さらべつへ



令和2年7月17日…グループホーム元気の里さらべつへ



# リサイクルにご協力いただいた皆様 (R2.5.26~)



## ～ アルミのリングプル ～

江別市の非営利団体「リングプル再生ネットワーク」へ送り、規定量に達すると車イスや歩行器等の福祉用具に交換できます。

行政区	お名前
曙町	橋本 駿夫 様
更別区	塩田 ミツ子 様
南更別区	大田 美枝子 様
更別東区	塩田 孝弘 様
昭和区	日光 エイコ 様
曙町	内海 ミヨ 様
勢雄区	宍戸 功治 様
曙町	牧野 きみ子 様
昭和区	林中 朱里 様
協和区	出嶋 征子 様
曙町	藤井 範子 様
北更別区	高久 睦美 様
本町	中村 節子 様
更南区	佐藤 金正 様
曙町	太田 貴美代 様
—	シルバーハウジング入居者 様
—	更別村ゲートボール協会 様

## ～ 使用済み切手 ～

「(公社)キリスト教海外医療協会」に送ります。団体の活動資金になります。

行政区	お名前
花園町	安江 勝明 様
北更別区	梶浦 加代子 様
錦町	更別森林組合 様
—	認定こども園上更別幼稚園 様
—	更別村役場総務課 様
—	更別村役場住民生活課 様
—	更別村役場産業課 様
—	更別村役場建設水道課 様
—	更別村役場保健福祉課 様
—	更別村国保診療所 様
—	更別村教育委員会 様

- ※ 切手の消印は切らずに残してください。
- ※ 封筒のままお持ちいただいても構いません。

みんなで  
リサイクル  
ボランティア



## ～ 高齢者等生活支援事業のお知らせ～

対象者：①おおむね65歳以上の方のみの世帯の方  
②障害者手帳の所持者のみの世帯の方 など

『配食サービス』…月～金曜の昼・夕方に、見守りを兼ねお弁当を配達します。(祝日除く)  
週1回からご利用いただけます。  
料金はごはん付きで300円、おかずのみの場合は260円です。



『寝具乾燥サービス』…7月と12月の年2回、使用している寝具をクリーニングします。  
無料のため、住民税非課税世帯が対象です。



『除雪サービス』…おおむね20cm以上の積雪時に、住宅周囲の除雪を無料で行います。  
住民税非課税世帯が対象です。(実施期間:12月～3月)



お問い合わせ・お申し込みは…更別村社会福祉協議会(野々村) ☎ 53-3500

## 成年後見制度に関する連続映画上映会・講演会のお知らせ



### 第2回 映画上映会・講演会「相続と成年後見制度」

日時：2020年11月14日（土）  
映画「おかえり、ブルゴーニュへ」（2018年）上映  
有賀真理氏（釧路司法書士会）講演会、相談会



### 第3回 映画上映会・監督講演会「認知症から」

日時：2020年12月5日（土）  
映画「ぼけますから、よろしくお願ひします」（2018年）  
上映  
信友直子監督講演会

※このほかに、映画「長いお別れ」上映会（2021年1月以降）、  
猪熊律子氏（読売新聞編集委員）講演会の開催を予定しています。



信友直子監督

ほろっとして  
ほっこりする  
老々介護の日常

多くのご来場をお待ちしています

<お問い合わせ>

更別村社会福祉協議会（担当 尾立）☎ 53-3500

## 更別村ボランティアセンター運営委員を公募しています

更別村ボランティアセンターは、社会福祉協議会内に設置されており、  
運営委員会は年に2～3度、会長の諮問に応じて開催されます。

住民の善意による寄付、それを財源に運営されるボランティア事業に  
ついて協議のうえ、ご意見をいただく機関です。

現在運営委員を募集しています。詳しくは ☎ 53-3500まで。



手作業作品「シールちぎり絵葉書」

～ 健康教室 元気クラブ ～

毎週木曜 老人保健福祉センターにて開催

### \*\*\* 編集後記 \*\*\*

村民の心と心をつなぐ情報誌として本紙の作成にあたりご協力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。

今年は新型コロナウイルスという恐ろしい感染症の流行により、様々な行事が中止となり、非常に残念なこととなりました。

社会福祉協議会はこれまでも被災地域への応援派遣、救済・援助事業の実施など、地域福祉を目的とする活動を続けています。

今回のコロナ禍においては誹謗中傷が生まれ、社会のあり方さえも破壊してしまうのではないかと不安になるのは私だけでしょうか。本紙の発行により、改めてたすけあいの精神が深まることをご期待申し上げます。(0)

【さらべつ社協だよりふれあい No.93/令和2年10月12日】社会福祉法人更別村社会福祉協議会

〒089-1531 河西郡更別村字更別 190 番地 1 更別村老人保健福祉センター内  
TEL (0155) 53-3500 FAX (0155) 52-2161  
法人代表メール：sara-shakyo227@abelia.ocn.ne.jp

